第八区、三連勝なるか

各地区一齊に猛練習始める

去る十七日、午後一時半より町役場会議室に商工会、学校、体協、行政協力常任委員が集り、第三回町民運動会について打合会を開いた結果、十月十三日（日）芦野グランドにおいて行うことに決つた。

この町民運動会は第一回、第二回とも第八区チーム（藤枝、若松、晃崎）が二連勝しており、同チームは今年も、と三連勝をねらつて大いにハリキツているが、昨年わずかの差で惜しくも第二位となつた第九区チーム（川倉）では、優勝をめざし、早くから猛練習しているので、第八区も油断はされないと町のうわさがあり、また他区チームも、それぞれ『打倒八区』を目標にしているので、本年の優勝杯のゆくえは予想つかないというのが本当だろう。

なお今回の運動会は『例年のような種目でなく、もつとレクリエーション的なものを加えてほしい』という希望が多いので、その声を重視してプログラムを組むことになつており、珍競技が続出し、例年にない盛大な町民運動会が展開されるというので、全町民から期待されている。各チームの区分は昨年と同じで次のとおり。

▽金木
①本町、栄町、田町、南新町
②山道町、昭和町、大東ケ丘
③神明町、朝日町、北新町
④小川町、米町、川端町
⑤寺町、新富町、浦町、芦野町
⑥沢部、三軒町
⑦藤田、神原
⑧藤枝、若松町、晃崎町
⑨川倉

▽嘉瀬
⑩上・中・下派立、新町、昭和町、東町
⑪上・下古町、上・下銀冶町、新誠町
⑫畑中、後町、冷水、東町、本町
⑬中柏木、小栗崎

▽喜良市
⑭岩見町、更生部落
⑮喜良市
⑯小川

第3回町民運動会

10月13日（日）

小田川ダム調査進む

明年度で設計完了予定

金木地区のダム建設の調査は、昭和二十九年から開始され『適地の調査』『地質調査』と慎重を期し、現在に至つているが、昨年度になり、ようやく小田川上流が適地であるとされ、本格的に調査が行われた。本年度は土円堤の基盤になる個所の調査に着手し、九月中だけでも農林省から桑技官、仙台農地事務局竹内課長、早坂技官ら数名が三回にわたり調査し、いよいよ本格的なダム建設工事の構想が具体化される運びとなつたもの。計画では総工費三億五千万円を投じ堤高二十メートル、堤長二百メートル、面積七十町歩、貯水量は四百五十万トンというもので水田用水および開田用水の補給が目的となつている。

花田町長の話　具体化される運びとなつたが、問題は土円堤となる附近に硫黄冷泉が湧いているので基礎工事をどういう工法でするかにあり、設計もこのため遅れている。昭三十三年度は徹底した細密調査を実施し、設計を完了する予定である。

喜良市の火葬場

年内に移転

工費は三二万円

喜良市の部落が東にのび、中学校と町営住宅の間に、五十㍍と離れないほど接近して、はさまれてしまつた喜良市の火葬場は、このほど起債がきまつたので、工事費百二十万円で年内に移転新築することになつた。

この火葬場は焼骨炉一基で休憩室も設けられる、木造平屋建ての二十四坪、屋根はトタン葺。部落民は中学校の校舎が建てられた昭和二十六年以来の悩みのタネであつたもので、竣工の一日も早いことを望んでいる。

今年も一万円を寄附

アメリカの藤元さんから

ニューヨークから三十六年ぶりに故郷の金木町を訪れた藤元嘉嗣氏（㌘）は、戦後、毎年のごとく母校金木小、中学校に多額の寄附をし、昨年九月、その帰郷記念として、さらに十万円相当の様券を寄附して町民一同を感激させたが、こんどは『敬老会のお役にたててください』と一万円を寄附し関係者一同は感激をあらたにしている。

藤元氏は昨年九月二十二日に帰郷し、当町寺町で食堂を経営している実妹リツさん（㌘）方に約一カ月間滞在し、その間母校の金木小、中学校を訪れて生徒達を激励したり町民運動会や、母親クラブの敬老会その他、町主催の歓迎会、知人殺友などの会合に出席し、町民の脳裡に深い印象を残して再びニューヨークに帰つたのであるが、このたび妹リツさん宅に『昨年故郷に帰つたときの思い出が、いまだに忘れられず、家内やことも達に笑われながらも、私の撮つた八ミリの映画を、たびたび映写してみて思い出を慎慎しています。特に敬老会のことが一番印象に残り、忘れられません。今もそのことばを、そろそろとしよりの日々が訪れるこの日を同封してきたものである。

原・水禁の会を結成

会長に花田町長選任

去る十六日午後八時より金木町保育所において金木町原水爆禁止の会の結成会が行われた。

当日は花田町長、高橋教育長、山本金小校長、中谷川小校長、安田婦人会長はじめ約五十名が集り、小山内嘉一郎氏が議長となり、会則を原案どおり決定、会長に花田町長、副会長には原田町議会議長鳴海健吉、安田百合子の各氏をそれぞれ選任した。

なお当日は原水爆禁止世界大会出席者の中谷川倉小学校長、小山内町議の講演および報告があつたのちスライド、映画を上映し閉会した。

秋晴れに親子楽しむ

母の会婦人会　保育所の合同運動会

金木町保育所の運動会は九月二十二日、母の会、婦人会と合同で芦野グランドにおいて開かれた。この日は前日に引き続き、秋晴れの上天気だつた。大会長花田町長の挨拶より次々に繰りひろげられた各種目には、総員が時のたつのも忘れるほどの拍手と爆笑のうずが会場の空高く巻き上つた。可愛い可愛いウサギ競走、手に汗をにぎる親子競走と師の、腹をかかえてころげ回つたオシドリ競走など多彩なプログラムのうちに、午後三時半、安田副大会長のことばで幕を閉じた。【写真＝親子ダンス】

喜ばれた「老人の日」

藤元氏に感謝状を贈る

金木町婦人会では九月十五日『老人の日』に金木地区の老齢者（七十五歳以上）六十四名を金木町保育所に招待し、正午から敬老会のお役にたててくださいと送つてきた一万円の寄附伝達を花田町長が行つたのち、町長および婦人会長より感謝状を、同氏の代理者としての実妹藤元リツさん（㌘）に贈呈した。

安田婦人会長の話＝藤元さんは終戦後毎年の如く母校の金木小、中学校に多額の寄附をされ、今回また私達の催しにもと、一万円を寄せられましたことに対しましては、ただ感謝のことばを申上げるのみです。

【写真＝婦人会の演劇に見いる藤本リツさん】

新生活の陰路を打開

北五地域婦人会の研修会

九月十二、十三の両日にわたり北五地域婦人団体および婦人学級運営研究協議会が斜陽館において開催された。

来賓および北五地域の婦人会幹部地元婦人会会員等参集者約百五十名を越え、一同熱心そのものの研究態度で、有意義な二日間であつた。

第一日目は開会式に続いて、県立図書館長小野正文氏は、例の豊富な話題を縦横に駆使して『幸せについて』と題して、お互いが幸せになるためには、現状に満足することなく、ともに悩み、考え、話し合い、理想に向つて歩を進めてゆく姿が、とりもなおさず、実践する婦人学級の姿であり、気どらずに、お互いが失敗談を持ち出して、研究の素材とし、ありのままに語り合うことが、お互いを幸せにするのだ、という内容の講演を

出来秋に滞納を一掃

徴税率は八月末で一〇％

八月末現在、町税の徴収率が約一〇パーセントという成績であるため十月からは再建計画の実行が危ぶまれている。

町当局では、三年間続いた豊作のこの出来秋には、町税の滞納を一掃しようと目下徴税対策を練つている。

岩村税務課長の話＝法の適用を受けた再建団体である当町の場合計画どおりの税金が入つてこなければ、つなぎ資金の借入れも困難になるばかりでなく財政の再建もできなくなり、政府でせつかく利子の補給までして貸してくれた二千百万円の再建債の繰上げ返済を命ぜられるおそれもありまた利子の補給も停止されるようになるかも知りません。そのうえ再建計画による学校建築、道路などできなくなるという事態も生ずるので、納税者の皆様にご協力くださるよう切にお願いします。

春の造林　望を受付

10月15まで農商課へ

明年の春、造林をしようという希望者があれば、次のことがらに注意し来る十月十五日で、当町役場農林商工課、申込れたい。

①他人に依頼しての申込みは受けない。

②印鑑に必ず捺されたい。

③造林する個の数、本数、地区地番、植栽位置などを申込むこと

町　明るい歌を

金木コーラス会の

今年四月より発足した、金木コーラス会は（会長年団と合流、責任者＝阿部定一、幾木全一）その後、熱心に練習かさねているが去る九月二十日、次のような計画を立てた。

①秋の芸術シーズンには、多数の会場に参加したい。

②年間、村に出い歌を流すためにいろいろ会に舞台に立ちたい。

③多くの町民さんでいただいるため、また会を理解してもらうため、多数の会員を参加ください。

④他町村にも出け、会員相互の力をつけたいまたコーラス会は、次のような日程で練習している。

○毎週金曜日、後七時より八時半まで。

○場所、金木小校音楽室。

写真

○…東北大来町し、懇層のあるから飯話に原田義一氏を喜ばせた山大判沢のだろうといされた。それは去る日鉄青森出を訪れ、大ると、挨拶らかになつ

【写真＝

○…秋元厚子嫁さんの実家いる関係で、妻父と一緒め、去る二十腕奮であり

同氏は弘大出「年後に農学

仕事の

当町の場合は

①選挙区やよ

選挙区　区

第一　大字

藤田、

第二　大字

第三　大字

解説　新しい農業委員会の制度

◎…農業委員会法が一部改正され、当町でも金木、嘉瀬、喜…◎
◎…良市と合併前の旧町村単位の地区農業委員会が、こんど…◎
◎…統合されたが、改正法による農業委員会制度はどんなに…◎
◎…なつているのか、以下その概要を述べてみよう。…◎

▽新市町村単位に統合

これまで各市町村単位に農業委員会が設置されていたが、その後、市町村が合併したにもかかわらず農業委員会は、旧市町村に設置されたままとなつていたので、新市町村単位に統合することができるように整備された。

▽選挙委員の

農業団体や農業経験者で組織

農業委員の数は、これまで十人～十人となつていたを十人～四十人とした。

この定数は、農戸数、耕地面積をもとに市町村条例で定めるが必要な場合には地区毎に選挙区を設けることもできる。

農業委員は農業者さんの直接選挙によつて選ばれる。

▽選挙の

行い感銘を与え午後は三つの分科会に分れ、①婦人問題、②青少年問題、③農業生活の今、また指導者それぞれ、その道のオーソリテを助言者として熱心に研究討議した。

ニューモアたつぷりな花田町長の迎のことばを始め金木音頭、金小唄の披露、紅白歌合戦と、盛り上げるのも忘れてのレクリエーションに、肩のこりもすつかりとれ、大いに親睦の実をあげた。

第二日目は分科会報告につづいて高橋教育長、山ドクターの三氏の講演があつた。

今年の研究会のテーマは、新生活運動にキエンをもつこの研究会の金木町婦人会心に会員が一丸となり、他に馳せ回りは勿論、学校の運営がスムーズに行くことは、会員によろこばれている。

同組合および

から各一人と

の推せんに

内を市町村長

ることになつ

に委員の数が

町村合併によ

つたためであ

写真

○…東北大学教育長、山本金小校長、中谷川小校長、安田婦人会長はじめ約五十名が集り、小山内嘉一郎氏が議長となり、会

円を寄附
藤元さんから

則を原案どおり決定、会長に花田町長、副会長には原田町議会議長鳴海健吉、安田百合子の各氏をそれぞれ選任した。

なお当日は原水爆禁止世界大会出席者の中谷川倉小学校長、小山内町議の講演および報告があったのちスライド、映画を上映し閉会した。

ばれた「老人の日」
藤元氏に感謝状を贈る

ミリの映画を、たびたびに映写してみて思い出を懐顧しています。

『昨年故竹に敬老会のことが一番印象に残り、忘れられません。今もそろそろ』としよりの日が訪れるこ

ろと思い、少い額ではありますがなにかのお役にたてさせてくださ

い』という趣旨のお手紙とともに一万円を同封してきたものである。

新生活の隘路を打開
北五地域婦人会の研修会

【写真＝婦人会の演劇に見いる藤本リツさん】

九月十二、十三の両日にわたり北五地域婦人団体および婦人学級連絡研究協議会が斜陽館において開催された。

来賓および北五地域の婦人会幹部、地元婦人会会員等参集者約百五十名を越え、一同熱心そのものの研究態度で、有意義な二日間であった。

第一日目は開会式に続いて、県立図書館長小野正文氏は、例の豊富な話題を縦横に駆使して『幸せについて』と題して、お互いが幸せになるためには、現状に満足することなく、ともに悩み、考え、話し合い、理想に向って歩を進めてゆく姿が、とりもなおさず、実践する婦人学級の姿であり、気どらずに、お互いが失敗談を持ち出して、研究の素材とし、ありのままに語り合うことが、お互いを幸せにするのだ、という内容の講演を行い感銘を与えた。

午後は三つの分科会に分れ、①婦人団体②婦人学級③家庭生活の今後のあり方について、また指導者の仕事について、それぞれ、その道のオーソリテーを助言者として熱心に研究討議した。

夜の交歓会では、ユーモアたっぷりな花田町長の歓迎のことばを始め金木音頭、金木小唄の披露、紅白歌合戦と、夜の更けるのも忘れてのレクリエーションに、肩のこりもすっかりほぐれ、大いに親睦の実をあげた。

第二日目は分科会報告につづいて高橋教育長、山本小学校長、鳴海ドクターの三氏が県下に名を馳せているこれの各分野に亀して、堂々のパネルデスカッションを展開し、新生活運動実践への隘路打開にキエンをあげた。

この研究会の会場を引受けた地元金木町婦人会では、安田会長を中心に会員が一致協力して準備その他に馳せ回り、町及び教育委員会は勿論、学校関係、町有志の賛同を得るなど、万全を期したため会の運営がスムースに行われ、参集者によろこばれた。

出来秋に滞納を一掃
徴税率は八月末で二〇％

八月末現在、町税の徴収率が約二〇パーセントという成績であるため十月からは滞納計画の実行が危ぶまれている。

町当局では、三年間続いた豊作のこの出来秋には、町税の滞納を一掃しようと目下徴税対策を練っている。

岩村税務課長の話＝法の適用を受けた滞納団体である当町の場合計画どおりの税金が入ってこなければ、つなぎ資金の借入れも困難になるばかりでなく財政の信用もできなくなり、政府でせつかく利子の補給までして貸してくれた二千百万円の普建債の償還は資金を命ぜられるおそれもありまた利子の補給も停止されるようになるかも知りませんそうなれば滞納計画による学校建築、道路などできなくなるという事態も生ずるので、納税者の皆様にご協力くださるよう切にお願いします。

春の造林希望を受付
10月15日まで農林課へ

明年の春、造林するという希望者があれば、次のことがらに注意し来る十月十五日まで、当町役場農林商工課へ申込まれたい。

①他人に依頼しての申込みは受けない。

②印鑑は必ず持参されたい。

③造林する樹の種類、本数、地区地番、植栽位置を添に申込むこと

町に明るい歌を
金木コーラス会の計画

今年四月より発足した、金木コーラス会は（金木青年団と合流、責任者＝阿部定一、浅木金一）その後、熱心に練習をかさねているが去る九月二十七日、次のような計画を立てた。

①秋の芸術シーズンには、多数の会場に参加したい。

②年間、村に明るい歌を流すためにいろいろの機会に舞台に立ちたい。

③多くの町民に明るい歌を、口ずさんでいただくため、また会を理解してもらうため、多数の会員を参加させたい。

④他町村にも出かけ、会員相互の力をつけたい。

またコーラス会では、次のような日程で練習している。

○毎週金曜日、午後七時より八時半まで。

○場所、金木小学校音楽室。

写真ニュース

○…東北大学の半沢教授一行が来町し、梵珠山脈に石油の含油層のあることが確認され、中里から飯詰にかけての鉱区の持主原田義一氏（金木鉄工場経営）を喜ばせたが、とんだ喜良市山大判沢の銅山が企業化されるだろうというニュースがもたらされた。

それは去る十九日、一流鉱山の日鉄青森出張所長が、花田町長を訪れ、大判沢鉱区は有望であると、挨拶ついでの話題から明らかになったもの。

【写真＝左が青森出張所長】

○…秋元厚生連金木病院長が、奥さんの実家で医院を経営している関係で、こんど故郷へ帰り義父と一緒に病院経営をするため、去る二十一日金木駅を出発した。

同氏は弘大出身で、院長に就任一年後に県下を出したいという手腕家であるばかりでなく体育協会長として町内の体育振興に多大の貢献をし、町民からの信任は厚かった。

【写真＝別れを惜しむ秋元夫妻】

○…写真は結婚式場での一シーン。花嫁、花婿、仲人などが揃って写っています。椅子は幼稚園か保育所のお子さんのものようですが、極めて貧弱な式場風景。これも『結婚簡素化』の影響でしょうか。

ところが、これは『老人の日』婦人会主催の慰労演芸会の一コマである。

【写真＝熱演の田町婦人会有志】

編集後記

○…今回の金木だよりは思いきってB3判の一頁とし、下段に広告形式の広報記事をとり入れました『金木だより』のあり方については、皆様のご意見は十分考慮して企画編集しますから、ご指導と、ご協力をお願いします（編集子）

あしあと
9月

二日　町村合併調整委員会（豊島分町）
四日　共同募金打合会
五日　小田川ダム地質調査（農林省、仙台農地事務局）
九日　原水爆禁止の会準備会
青森―金木間道路建設の陳情
一〇日　選挙管理委員会（財産区）
一一日　金木高校教育委員会
一四日　農業委員会農地部会
一五日　敬老会
一六日　民生委員推せん委員会
原水爆禁止の会結成大会
小田川ダム地質調査
一七日　町民運動会打合会
仙台農地事務局竹内課長来町
一八日　財産区会議員選挙
二四日　町議会全員協議会
二五日　少年防犯弁論大会（金中）
金木高校議会
二八日　町議会教育民生常任委員会

人口動態
昭和32年8月末現在

男	7,935	
女	8,310	
計	16,245	

区分		金木	嘉瀬	喜良市	計
人口		8,461	4,283	3,501	16,245
世帯		1,491	845	559	2,895
異動	出生	23	11	18	52
	死亡	3	4	2	9
	転入	52	8	6	66
	転出	44	23	1	68
婚姻		6	4	3	13
離婚		2	0	0	2

財産区議会議員当選者

◇嘉瀬財産区（定員八名、無投票）
工藤多一郎、伊藤定市、鳴海彦一、山中武太郎、鎌田稲辰、津田孫二、小松常五郎、松川専五郎

◇喜良市財産区（定員十名）
桑田信吾、古川嘉之助、伊丸岡政美、古川佐一郎、桑田精治、伊藤武里、佐藤忠太郎、西村正治、小野正彦、大橋繁雄

仕事の推進は部会で
拡大された所管事務

解説　新しい農業委員会の制度

◎…農業委員会法が一部改正され、当町でも金木、嘉瀬、喜…◎
◎…良市と合併前の旧町村単位の地区農業委員会が、こんど…◎
◎…統合されたが、改正法による農業委員会制度はどんなに…◎
◎…なっているのか、以下その概要を述べてみよう。…◎

▽新市町村単位に統合
これまで各市町村単位に農業委員会が設置されていたが、その後、市町村が合併されたにもかかわらず農業委員会が依然として、旧市町村に設置されたままとなっていたので、新市町村単位に統合することができるように整備された。

▽選挙委員のほか農業団体や学識経験者で組織
農業委員の数はこれまで十人～十五人となっていたのを十人～四十人とした。

この定数は、農家戸数、耕地面積をもとに市町村の条例で定めるが必要な場合には各地区毎に選挙区を設けることができる。

農業委員は農家の皆さんの直接選挙によって選んだ委員と、農業協同組合および農業共済組合の理事から各一人と、さらに市町村議会の推せんによる学識経験者五人以内を市町村長が委員として選任することになっている。以上のように委員の数が相当拡大されたのは町村合併によって区域が大きくなつたためである。

▽専門に仕事をすすめる部会制度
農業委員が仕事を進めていくためには農業委員会の総会で議決されたことを行つてゆくわけであるが今度の改正によって、部会制度（常任委員制度）のようなもので農地部会およびその他の部会を設けてその専門の仕事を強力に推進することになつた。

当町の場合は次のとおり

①選挙区および委員の定数

選挙区	区域	定数
第一	大字金木、川倉	十人
第二	大字嘉瀬、中柏木	八人
第三	大字喜良市	六人

②農業団体の推せん委員
農業協同組合　二十五人
農業共済組合　七人
計　二人
九人
五人

③学識経験
総計　三十九人

①農地部会
選挙委員の互選　十二人
農業団体委員の互選　二人
学識経験者委員の互選　二人
計　十六人

②農業振興部会
十五人

▽所管事務は拡大
これまで行つてきた農地事務、行政庁に対する建言、答申ばかりでなく、今後は農業振興計画の樹立推進、農業技術の改良、病虫害の防除なども、あわせて実施することになつた。

お留守は？
狙われている
収穫時の空巣ドロに注意！
金木警察署

旅行のときでも
タバコは
町内のお店から
Shinsei Cigarettes
SHIN SEI
鹿にならない消費税
役場への収入は31年度で二百九十四万円

同時上映
白鳥物語
銀座のシイのみ
まんが、その他
①小中学校合同運動会
②石油含油層の調査
③よい子達のラジオ体操
④キッチンカーの来町
ニュース映画　金木だより　第一集　第二集
10月26日(土)27日(日)
午后7時30分より
⑤青森―金木間道路踏査
⑥としよりの日
⑦保育所・婦人会の合同運動会
場所　金木町保育所